

整理番号 2024M-014

補助事業名 2024年度 プラスチック・ゴム加工機械の国際競争力に資する
標準化推進 補助事業

補助事業者名 一般社団法人日本産業機械工業会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

プラスチック加工機械及びゴム加工機械はあらゆる製品の製造に使用されており、消費者の生活基盤を支えている。これらの加工機械の市場は益々グローバル化し、各国の安全規格を統一する必要性の高まりからISO/TC270（プラスチック加工機械及びゴム加工機械）が設立された。日本が今後も世界市場で競争力を維持するためには規格開発に深く関与することが重要であることから、TC270及び傘下のWGの国際会議に専門家委員を派遣し、日本の意見を規格への確に反映させる。そのために国内の各分科会で規格案を精査して必要な主張を適宜行っていくなど、標準化活動を推進する。

(2) 実施内容

① ISO/TC270関係国際会議派遣及び国際提案規格審議

<https://www.jsim.or.jp/business/jka-granted-project/>

2024年度に開催されたISO/TC270及びWG2の国際会議に専門家を派遣し、日本意見の反映に努めた。また、規格案に対する日本意見の審議及びこれらを主張するための各種資料の作成提出を行った。これらに対応するためにISO/TC270/WG2国内分科会等で協議を行った。



第6回WG2国際会議



第7回WG2国際会議



第8回WG2国際会議



WG2/AHG国際会議（オンライン）

2 予想される事業実施効果

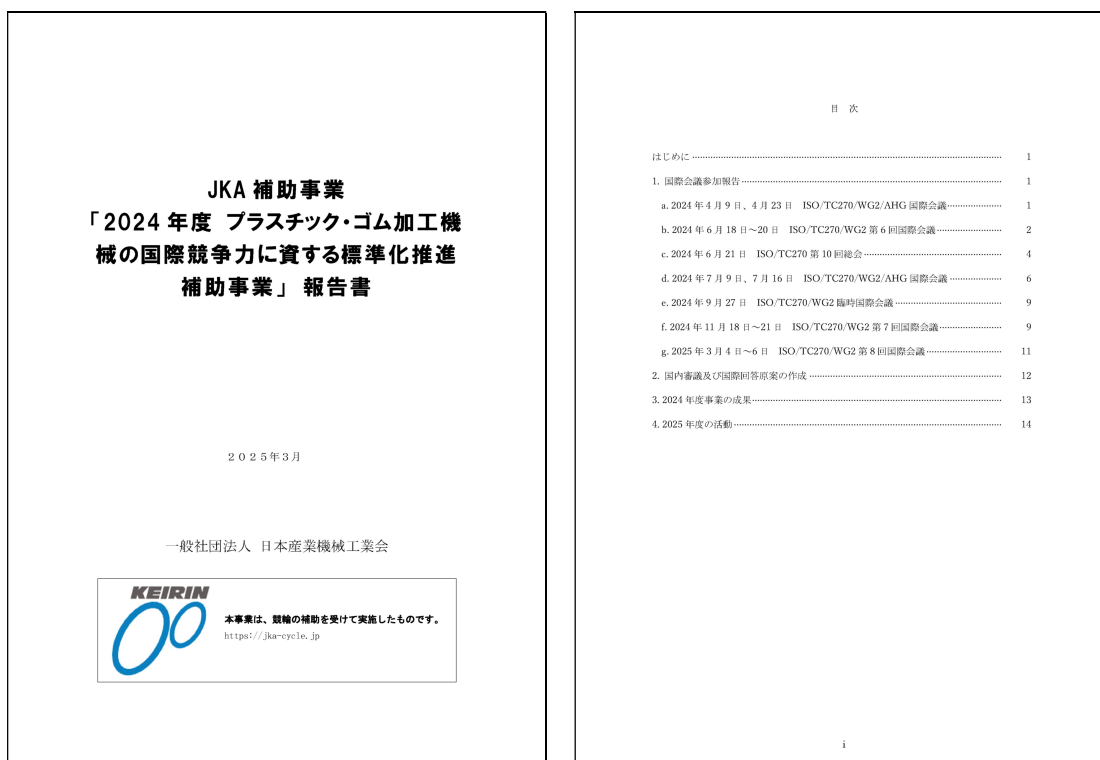
ISO 22506（押出機の安全要求事項）規格案の検討が進展する中で、従来から存在するアメリカ規格及び欧州規格に基づく要求事項では日本の実情に合わない部分について、積極的に意見を述べたり依頼がなくても自らの判断で資料を作成提供することで欧米をはじめ各国の妥協を引き出し、日本の意見を規格に反映させることができている。合わせて、日本が活動に貢献する姿勢によりWG2主査をはじめ各国の信頼を勝ち取ることができおり、今後の協議においてもプラスの効果をもたらす。この事業を通じて作成された規格は、日本のメーカーが競争で不利にならない、場合によっては有利に働く規格を作成し、旧来の押出機と比べて大きく安全性を向上させつつ、世界での競争力の維持・強化を図ることが効果として期待される。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

JKA補助事業「2024年度 プラスチック・ゴム加工機械の国際競争力に資する標準化推進補助事業」報告書

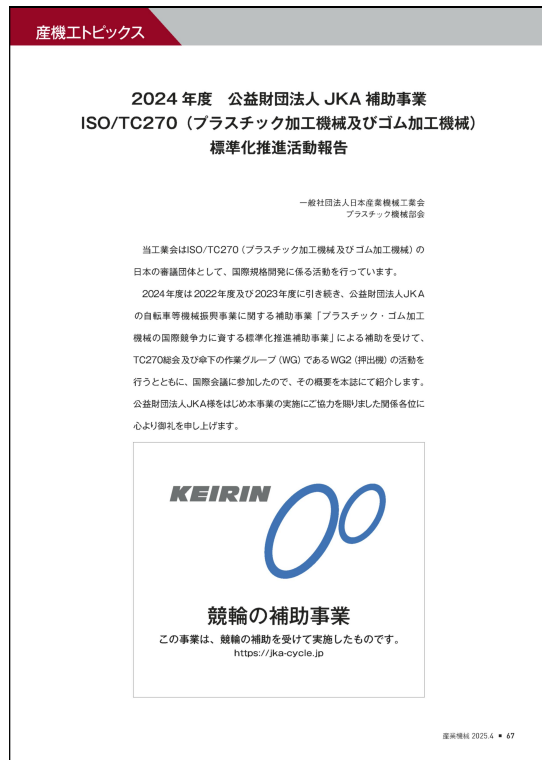
<https://www.jsim.or.jp/pdf/business/jka-granted-project/a-1-52-00-00-00-2025042202.pdf>



(2)(1) 以外で当事業において作成したもの

(一社) 日本産業機械工業会機関誌「産業機械」2025年4月号

<https://www.jsim.or.jp/pdf/publication/journal/a-1-55-01-00-00-20250421.pdf>



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名：一般社団法人日本産業機械工業会

(イッパンシャダンハウジンニホンサンギョウキカイコウギョウカイ)

住所：〒105-0011

東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館4階405号

代表者：会長 金花 芳則 (カネハナ ヨシノリ)

担当部署：産業機械第二部 (サンギョウキカイダイニブ)

担当者名：雨宮 正明 (アメミヤ マサアキ)

電話番号：03-3434-6826

F A X：03-3434-4767

E-mail：amemiya@jsim.or.jp

U R L：<https://www.jsim.or.jp/>